

アイビー・グリーン (ヘレン・ケラーの生家)



アラバマ州北部に位置するタスカンビア市に日本でも有名なヘレン・ケラーの生家があります。

美しい緑に囲まれアイビー・グリーン*と名付けられた640 エーカー (約 260 万㎡) の敷地に、三重苦を背負いながらも現ハーバード大学 (ラドクリフ大学: 当時の米国における女子教育の名門) を優秀な成績で卒業し、生涯を通じ社会福祉活動や平和運動に献身したヘレン・ケ

ラーの生まれ育った家が建っています。

広大な敷地に比べると小さめに感じる母屋は、1820 年にヘレン・ケラーの祖父母によって建てられたものですが、その外観とは異なり、一旦中に入ると結構広く感じます。1 階は、主寝室、応接室、ダイニングルーム、展示室の 4 つの大きな部屋が廊下を挟んで左右に 2 つずつあり、それぞれの部屋には暖炉が設置されています。2 階には、ヘレン・ケラーと彼女の家庭教師であるアン・サリバン先生の部屋を含めた 3 つの部屋があります。



各部屋は、ほぼ当時のままの状態で作保存されており、実際に使用されていた家具、ヘレン・ケラーの点字書籍や点字タイプライター等が飾られています。また、応接室に 7 歳当時のヘレンの写子が飾られているほか、主寝室には 13 歳当時のヘレンやヘレンの兄弟であるフィリップス・ブルックス・ケラーの写子も展示されています。なお、ヘレンには、このほか妹のミルドレッドと、腹違いの 2 人の兄弟 (ジェームズ、シンプソン) がいました。



敷地内には、母屋のほかに、ヘレン・ケラーが誕生し、のちにホームスクールの場となりサリバン先生の厳しい教育を受けた小屋が母屋の向かって右側に、そして、ヘレンが流れ出る水を感じ、初めてものには名前があることを悟ったあの有名な井戸が母屋の裏側にあります。また、小屋の前方にあるヘレンの遊び場だっ

た The Playpen と呼ばれる円形のエリアには、紫陽花畑 (アラバマ州の野草は柏葉紫陽花) に挟まれる形で設置されたベン



チや、紫陽花の下方に座って読書する可愛い娘の石像 (ヘレンではないとのこと) があり、ここでゆっくりと流れる時間を満喫しながら休む人や記念写子を撮る人も多いようです。



なお、各国からの寄贈品を紹介するエリア

には日本庭園が造成され、日本からの贈り物として灯籠が展示されております。

毎年6、7月にはアイビー・グリーン内の奥にある野外劇場にてウィリアム・ギブソン作「The Miracle Worker (奇跡の人)」という演劇が上演されます。また、ヘレン・ケラーの誕生月である6月(誕生日は6月27日)にタスカンビア市にてヘレン・ケラー・フェスティバルが毎年開催され、パレード、ウォーター・ショー、美術工芸品の出店、スポーツイベント等が行われます。



参考までに、アトランタからの主な行き方としては、I-20 を利用しバーミングハム経由で北上する方法と、I-75 を利用して北上した後西方へ移動する方法等があり、バーミングハム経由で行った場合、車で約5時間の距離になります。

*1970年米国国家歴史登録財に指定。